

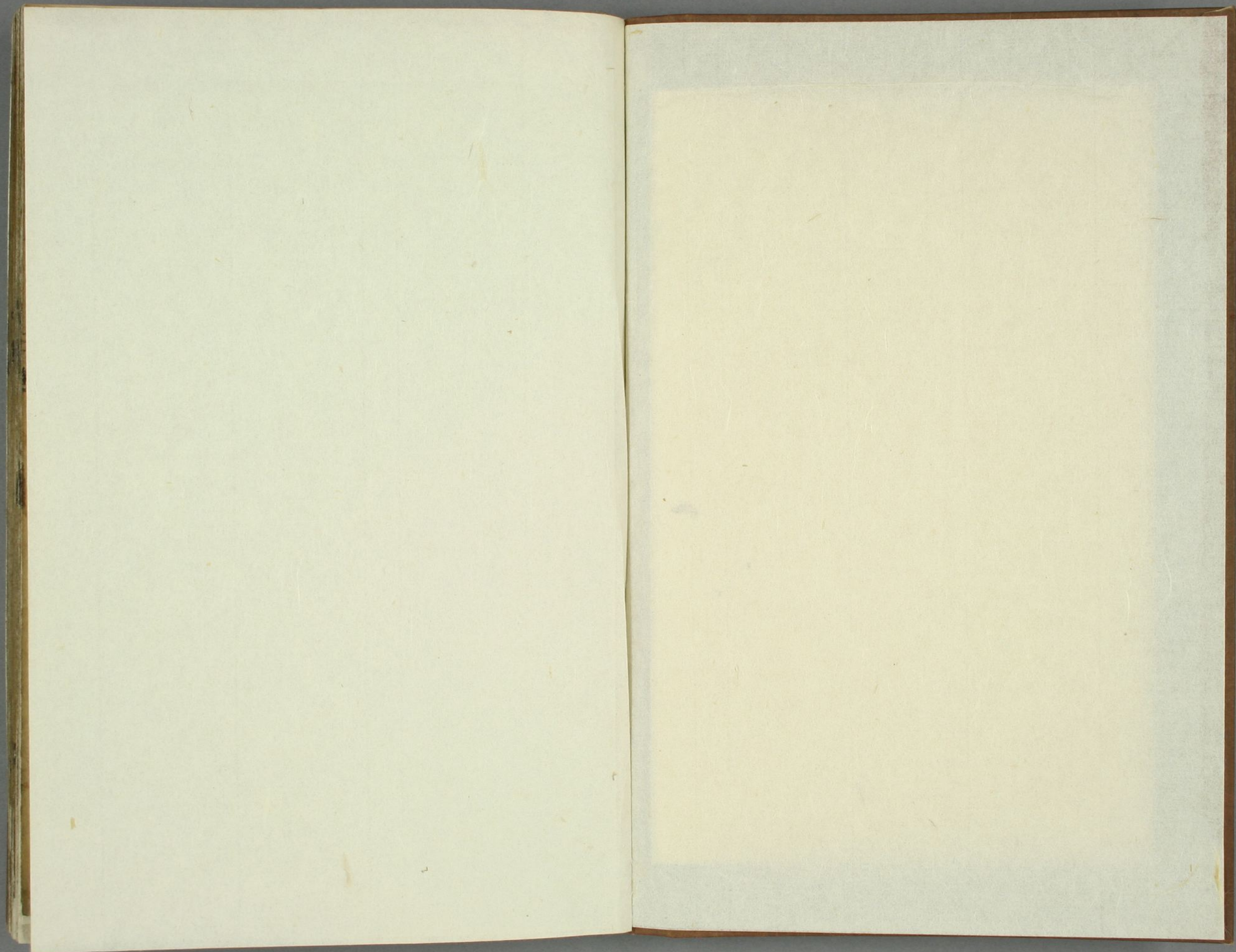


塵劫記 卷之第三

特別
= 2
4127
3









塵劫記 卷之三 目録

十七 檢地タテマの事

十八 知り地シラシの事

十九 金坑カネツツ北キタ海ウミうりくみクミ付ツケ地チをヲ寸積スジツクの事

二十 材木サイキの事



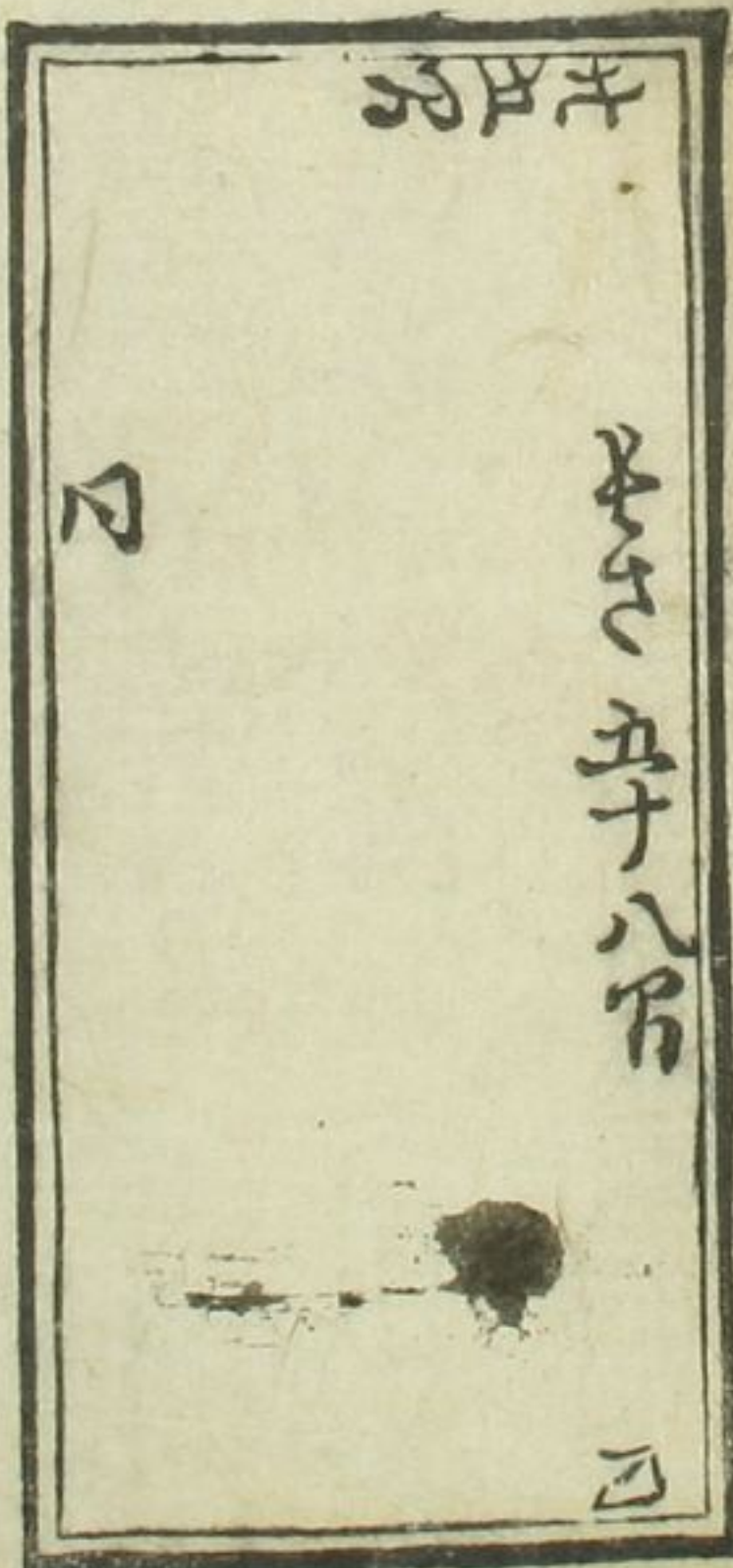


ふかき  
びるき

第十七

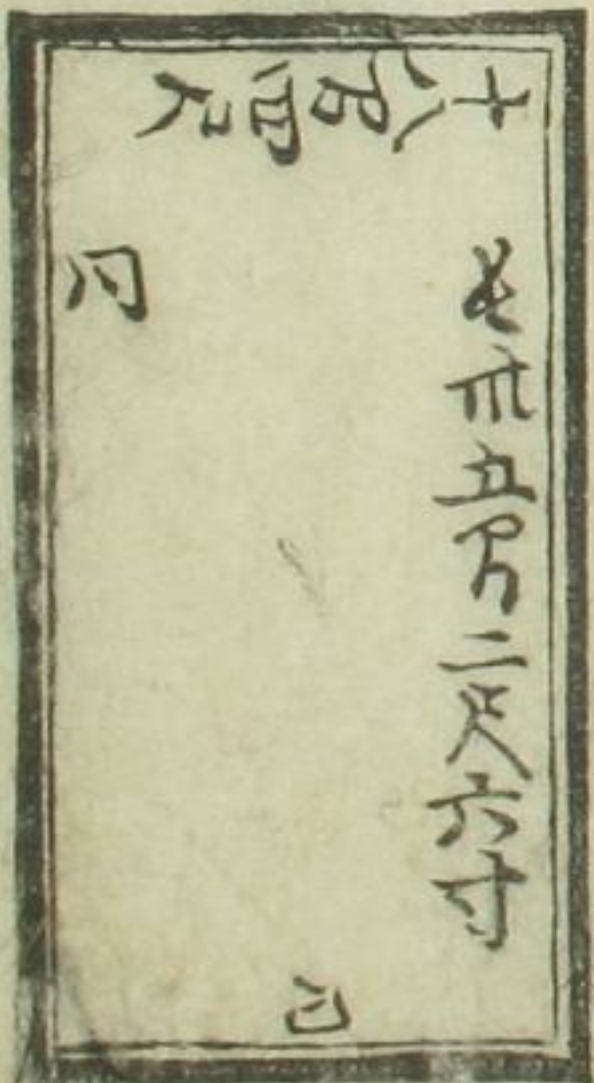
検地のし

○四反八畝十歩



法は、右換の如く右有、五から凡、千四百五拾坪、  
から是と田の法三にして、刻時四反八畝十歩と刻

○二反一畝廿八歩九分



法は、是世五尺二尺六寸と右よと、一けんより



うへり一六尺一寸をうへり三三丈一尺一寸  
又花よこ三十八間四尺と盡て一けりうへり  
六五とくくれを十二丈一尺とちりこれを書き  
廿三丈一尺一寸とくくれ一丈の坪数七十八坪  
四分二りき色少しからちり これを一坪の法  
四二二五にしてくくれの六百の積八坪九分りり  
とくくれ これを田のは三とてくくれの二丈一尺  
廿八歩五分ハリ也とちり

一町右きくく田七間五尺二尺六寸五分  
右の二尺六寸と六五とてくくれの世五間四  
と又横十八間五尺四寸りりこれを六五とて  
くくれ十八間六寸一尺又一寸あまわあるを  
寸とてくくれかきとくくれ右よをきとてくくれ

○六百四十八坪分四りとなること  
さきく右きとちりくくれとくくれのくくれとくくれ  
よきと見あるをくくれ用ちり一けんよりうち  
尺寸とくくれ六五とてわけてちりとくくれとくくれ  
よきと又さきくくれハたすともくくれ入て  
さきよきとわけてくくれとくくれとくくれとくくれ  
から



廿

一畝廿八歩二分あり

七十七六方

廿

法一七七十六方五分をかくれを三八と成  
二八を六五にして五歩の餘八坪中六リと成  
是を田に法三にして刻を一畝廿八歩四分六リと  
志ふなり

七十七六方

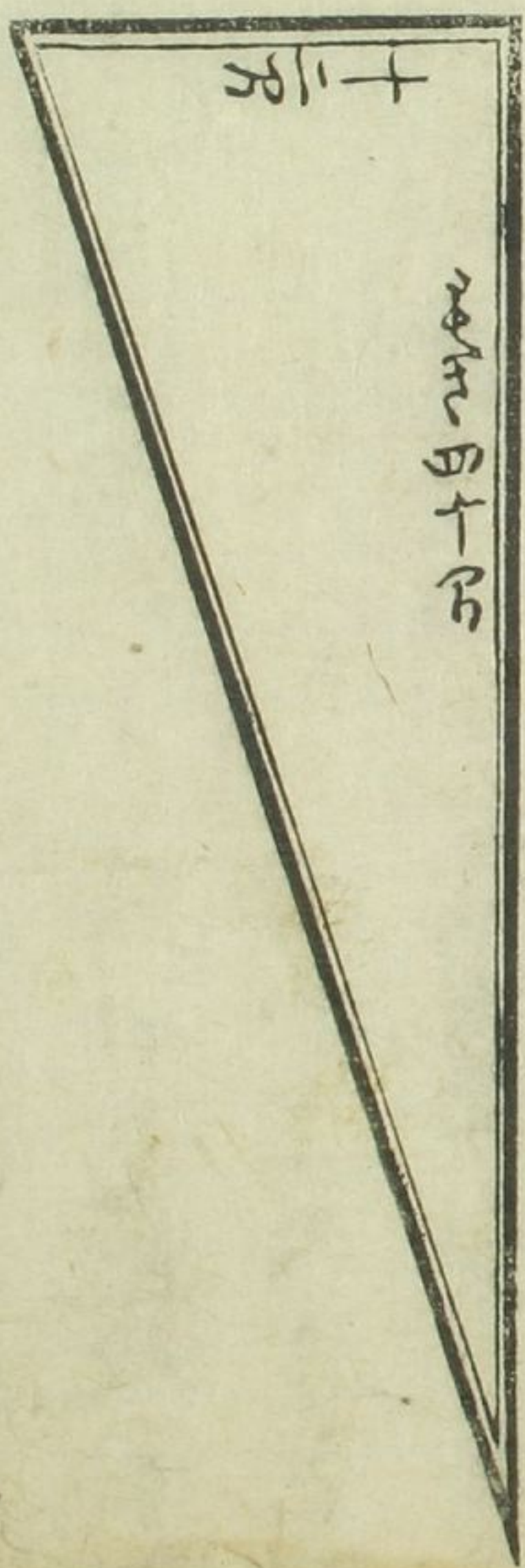
十

一及七畝三歩

廿

法一七十三方又五方をくはるは  
十八方よ成これ二ツにわぬ時九方よ成是を  
七四十七方よくはるは五百十三坪とありこれ  
田の法三にして刻を一及七畝三歩志ふなり

〇八畝



法一十二方を二ツにわり六方よるこれ  
なるを四拾五よりこれに或る四拾坪なり  
是を田に法三してわぬ時八畝と志ふなり



○八畝七歩四分



法より十五畝九右より垂くこれと仰る廿五坪より  
 これより又三角の法四三三をかく所とせば  
 九拾七坪二分ニリ也是より此を田の法三少て  
 刻時一三畝七歩四分ニリ也是とあるへし

○八畝十二歩



法より横十八方を二ツよりしは九方より  
 これをさ廿八歩よりしは五十二坪より  
 是と田の法三よりしは八畝十二歩とあるへし

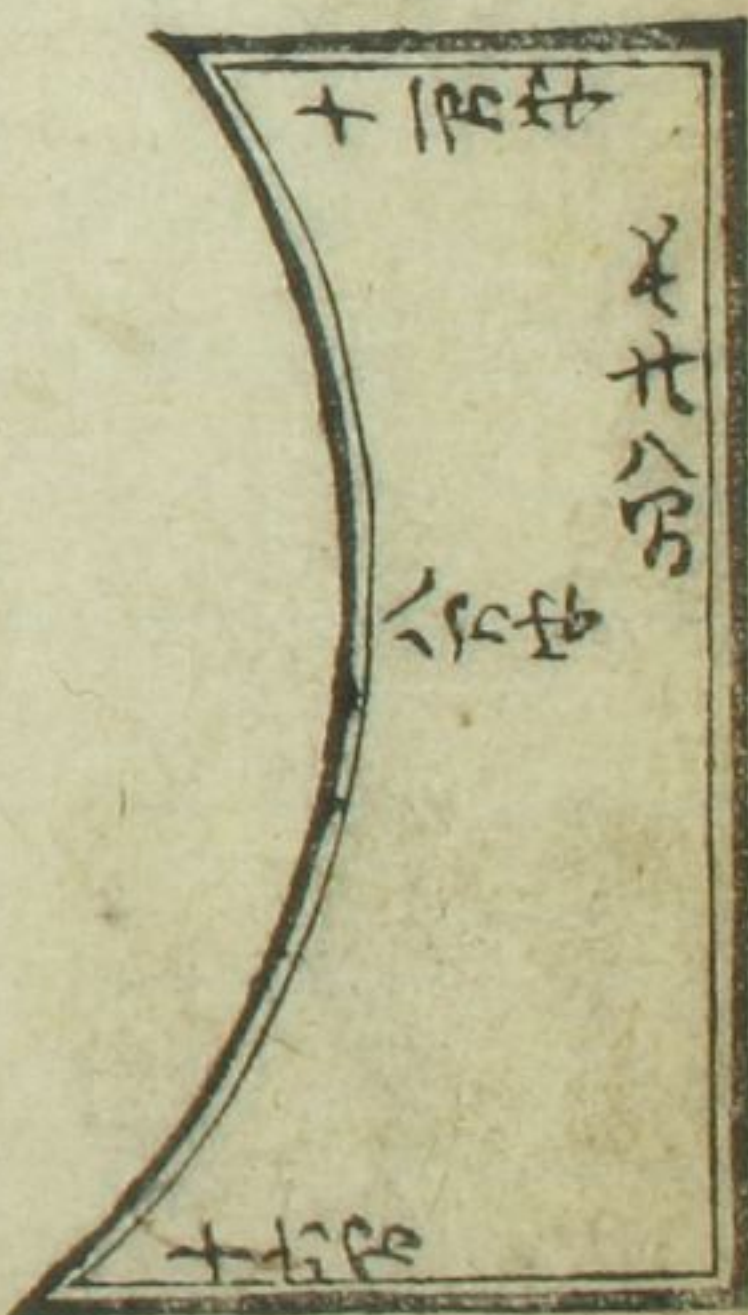
○九畝三歩



法より横十四方を二ツよりしは七は七はなる  
 これを廿九方よりしは廿七拾三坪より  
 是をかくこれと田の法三よりしは九畝三歩とあるへし

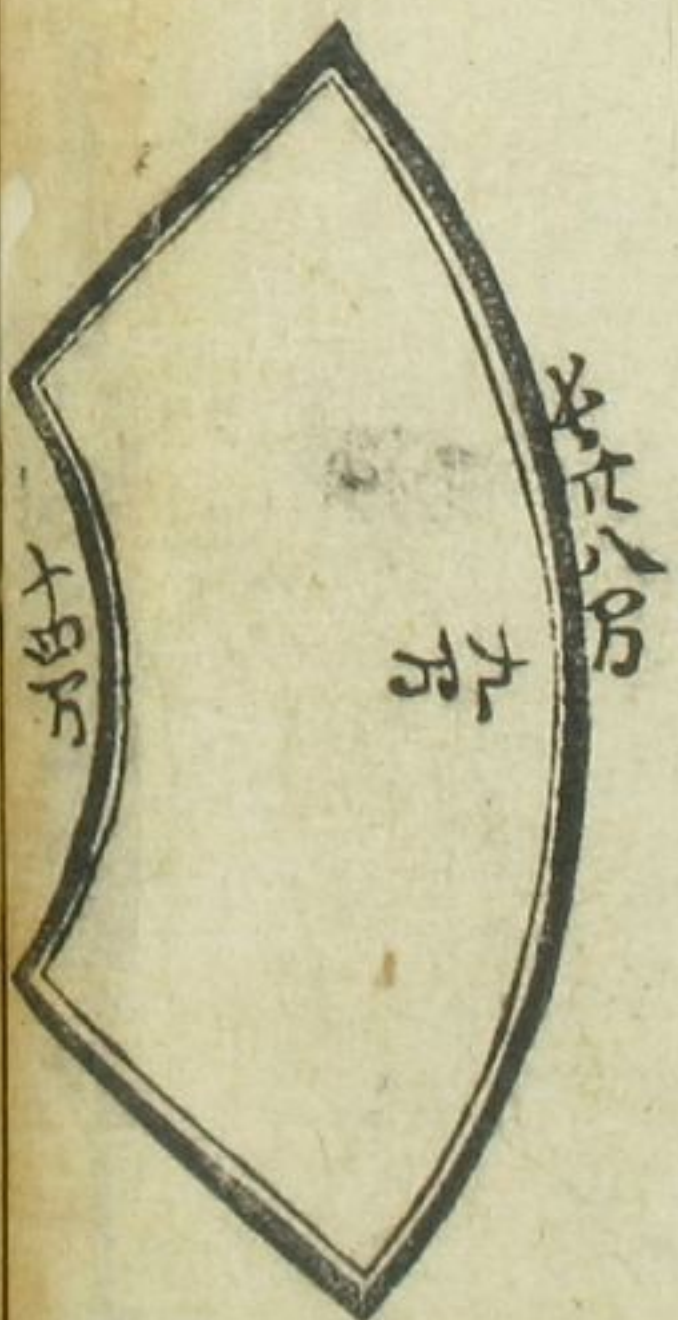


○一及一畝の歩



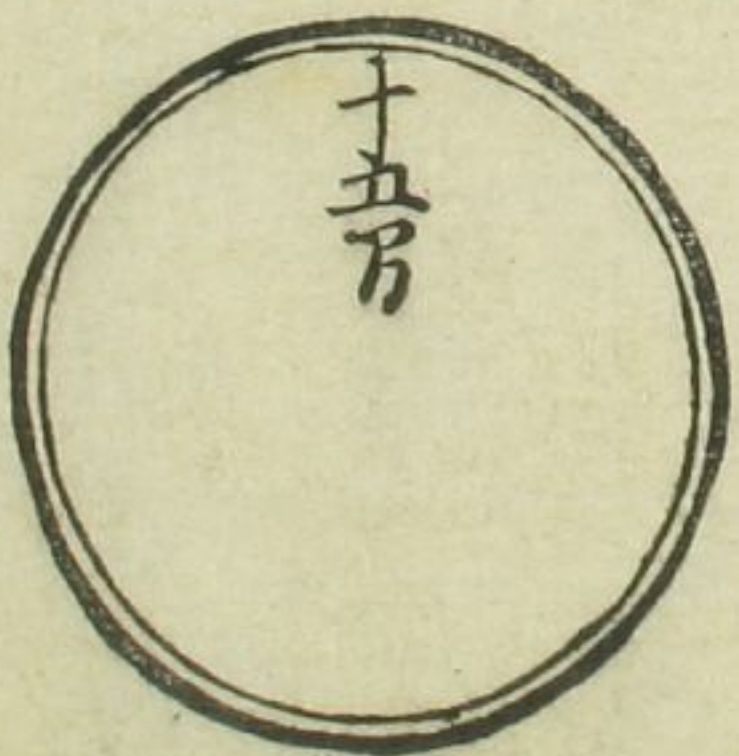
法一より十六けんの中廿八歩をとりて  
又十一歩中をとりての時合廿六歩よりなるを  
三つよりしるひ十二歩と成是より廿八けん  
三百廿六坪と成田法三て刻一畝一歩と成

○六畝の歩



法一廿八歩より十四けんより四拾二歩よりなる  
是二つよりしるひ廿一歩より成是より九歩よりなる  
百八十九坪よりなる田法三てより時よりなるを

○五畝廿七歩の歩



法一十五歩を九歩より重くしるを或百廿五坪より  
るりかめしるはよりしる法七ぬをかく時より  
百七十七坪七分ありは成しるを田の法云はて  
よりしる五畝廿七歩七分ありと志るを

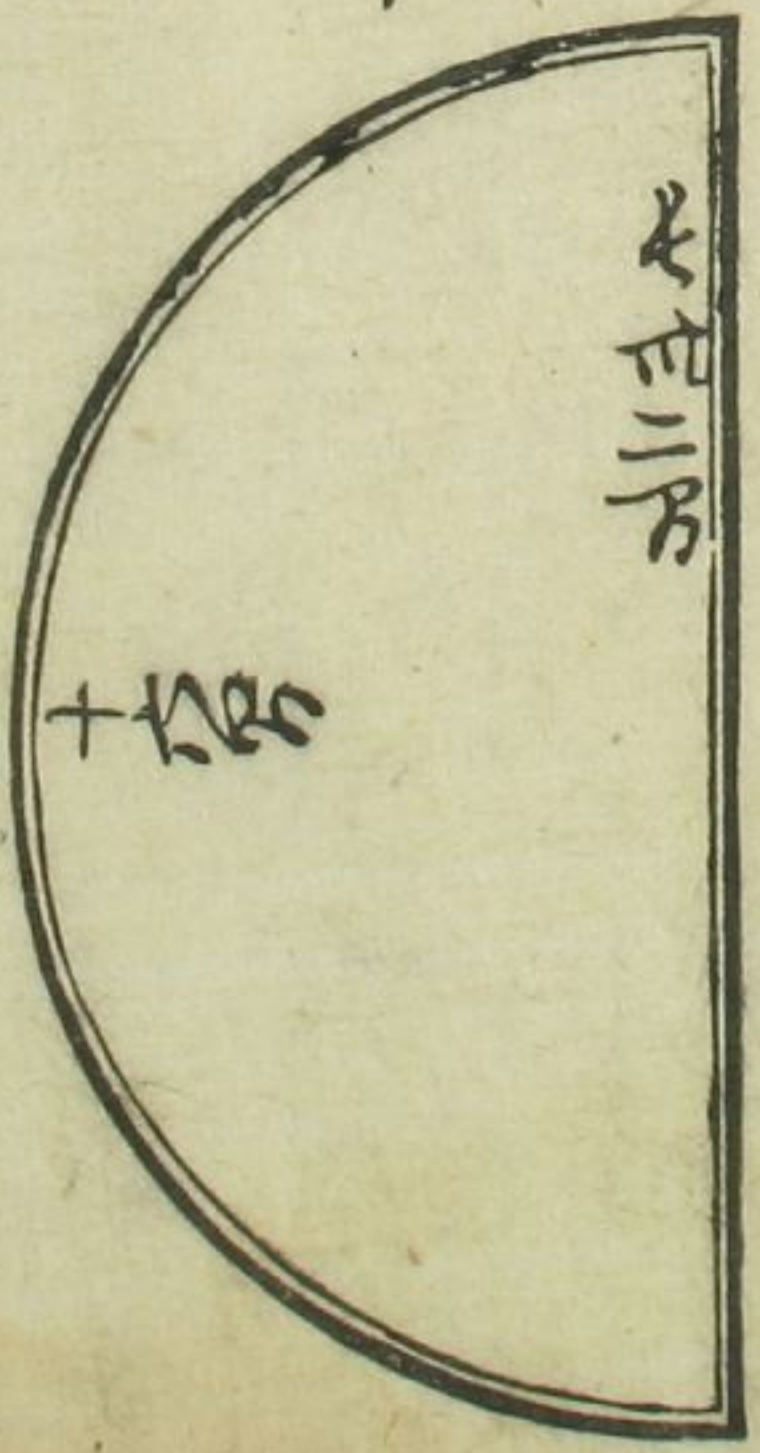


○五畝廿七歩七分五厘



法一四三〇一わーう〜れぬ時よまわりを  
 うはせき一四拾七畝二尺六寸あり二尺六寸  
 りりりを六五よてわらえ四十七百四少しなる  
 二畝を田きめくわ此法三一六少てわら時一  
 一畝をき一わー十五けん少しなる一  
 け十五万を左右よをきかくれい少ら廿五坪よ成  
 きりき法七九をうり百七十七坪七少五厘と  
 ちあかり是を田の法三はわらりよき一  
 五畝廿七歩七分五厘とさる一

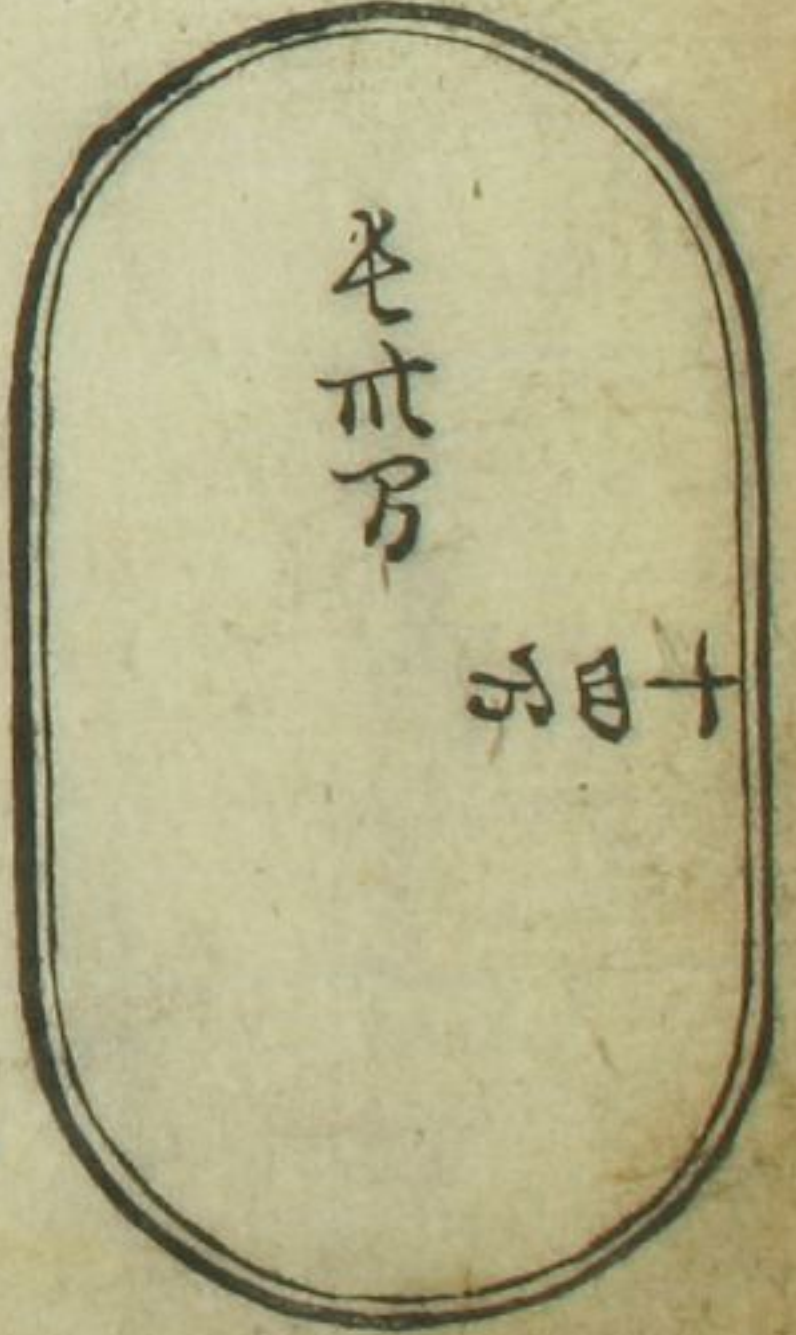
○一及三畝十歩四分



法一なるき世二万一横十六万とく〜れを  
 五百十二坪少しなるありこれ一又きりき法  
 七五をかくれえ四百四坪四分ありよなる是を  
 田の法三よてわら少しき一及三畝十四歩  
 四分ありなる一



〇一及二畝十八歩八分四厘



はよそ世取のうちとよそ十四方引一付よ砂で  
 十六方とよそ十方とよそ八歩或百廿四坪と成  
 これを右よへちよ垂又右よ十四方左右よをき  
 ころ只一九六よたふは是よ四き法七九ころれん  
 百歩中坪の分四りと成これと右よころれん  
 時よころ首七十八坪の分四りよ成これと田の法  
 三てよ引六一及二畝十八歩八分四りとよるこ

〇一及九畝廿四歩



はよそ世取のうちとよそ四拾五方をくころ分付り  
 九拾九方よころ二川小よ引六十四方半よ成  
 これより横十二方をくころ只五百九十四坪と成  
 これと田の法三よそわろころ

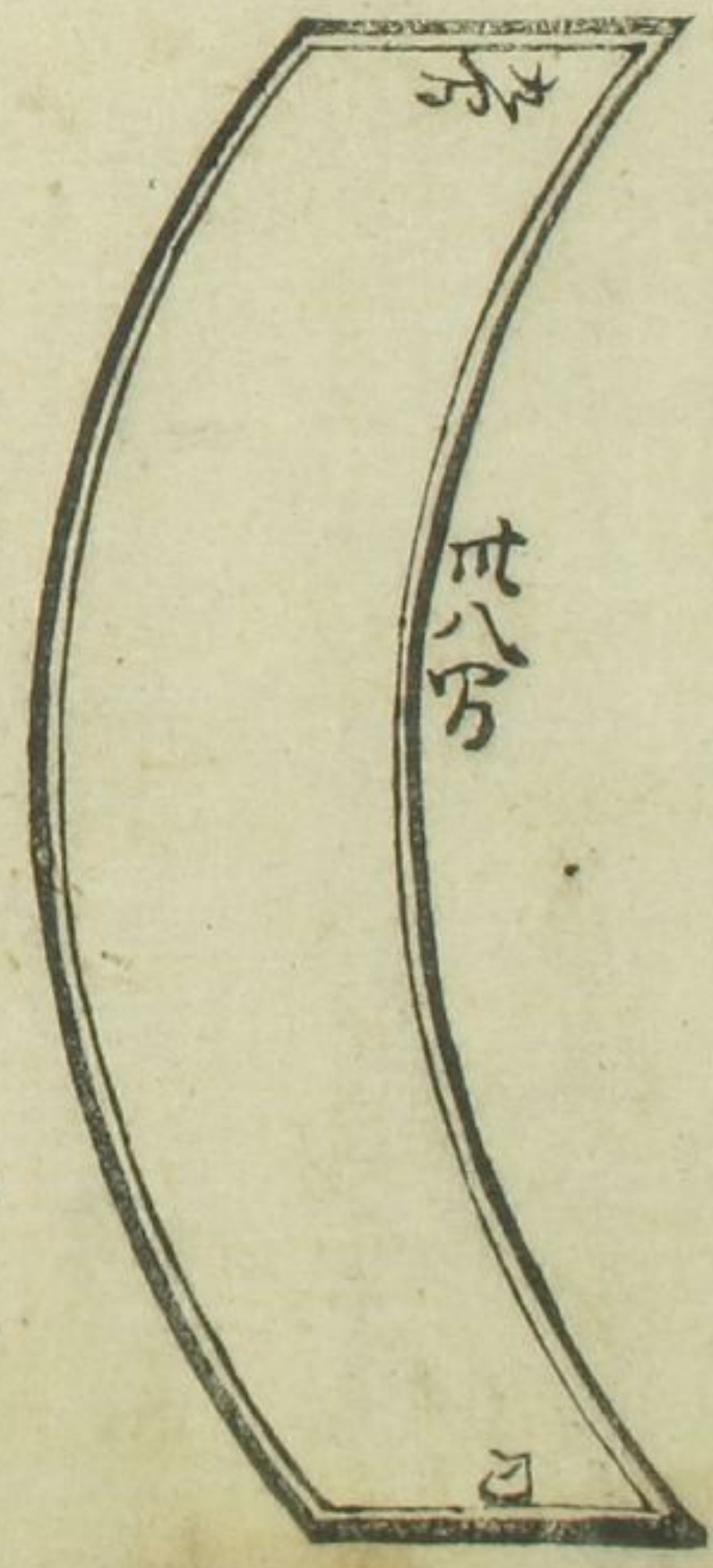
〇一及二畝四歩





法一りよこ廿六方を二ツよじぬの十三列  
 るり是を廿八方りかくれを三百六十四坪と  
 するに 一畝を因れば法三にそわふとさしり  
 一及二畝を歩とさるへし

〇一及一畝十二歩



法一りなるき 卅八けんよぬけんをかくる野は  
 三百六十二坪也 是なるの二畝を因れば法三に  
 一及二畝を歩とさるへし

〇一とん五分



法よ十四けんよ九方をかくる野は廿三畝一畝  
 二畝を二ツよじぬの十一方歩りなるにれよ  
 是き或は三畝をかくれは或は六十四坪也なる  
 有よ是をへちりよき〇又八方を二ツよ割時  
 四方よなる是よ又九方をかくれは廿六坪と成  
 有よ或は六十四坪也なるにれは三百坪也なる  
 田の法三にそわふ一及五分とさるへし

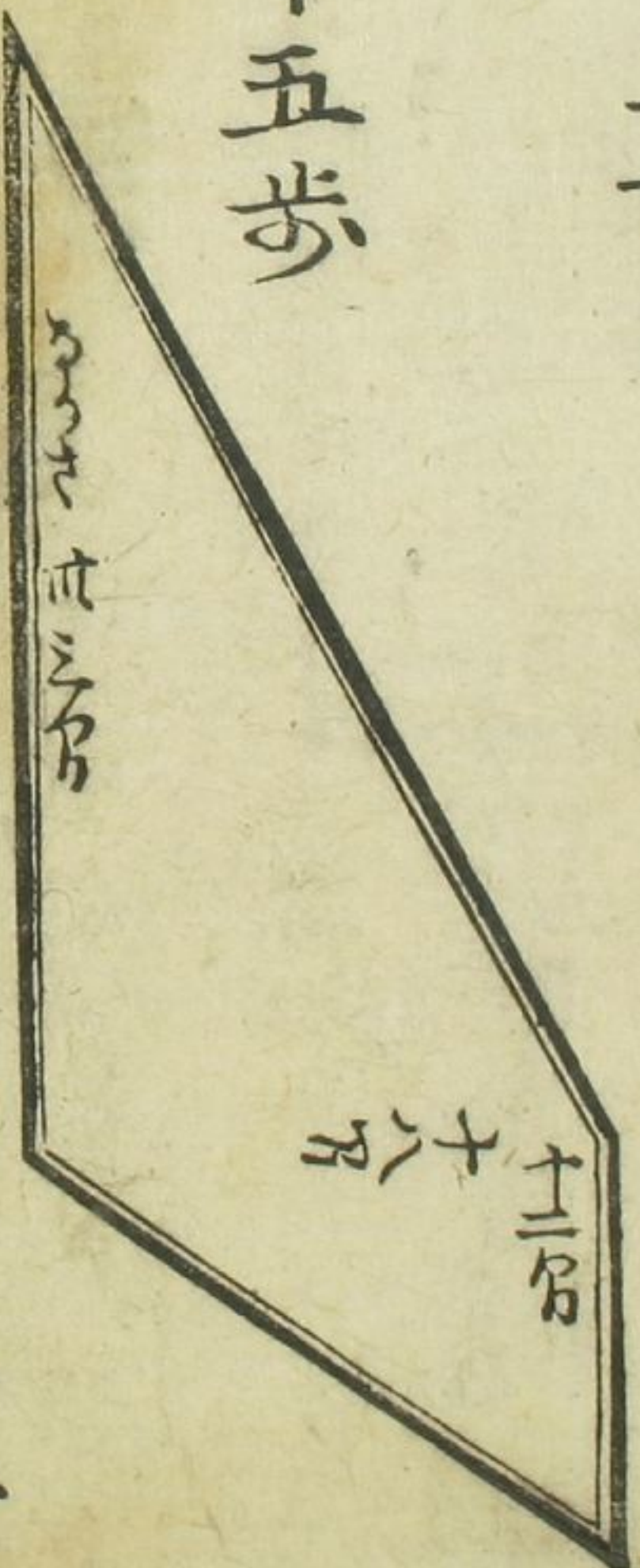


○一及十二歩



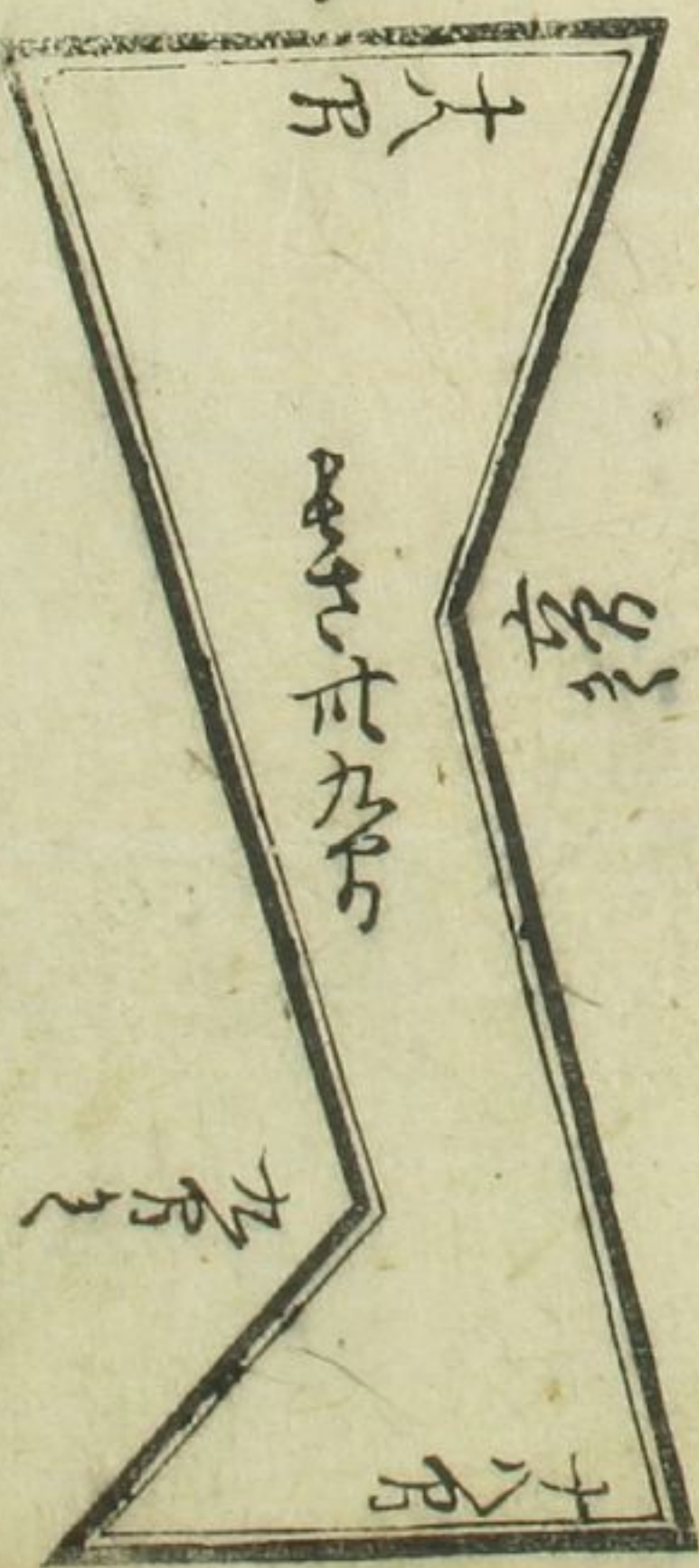
法は十六歩二ツはわろとまき八歩は二ツを  
七歩五歩よりくぬ三歩十二坪は成田法三より  
わろえ一とん十二歩せしき原面一

○一及三畝十五歩



法はかりくも三歩一又十二歩とくも六歩  
四十五歩一畝二ツはわろ時廿二歩をんは  
これに横十八歩とくぬ四歩五坪は成田の法  
三よりわろえ一及三畝十五歩とまろ一

○一及三畝十九歩半

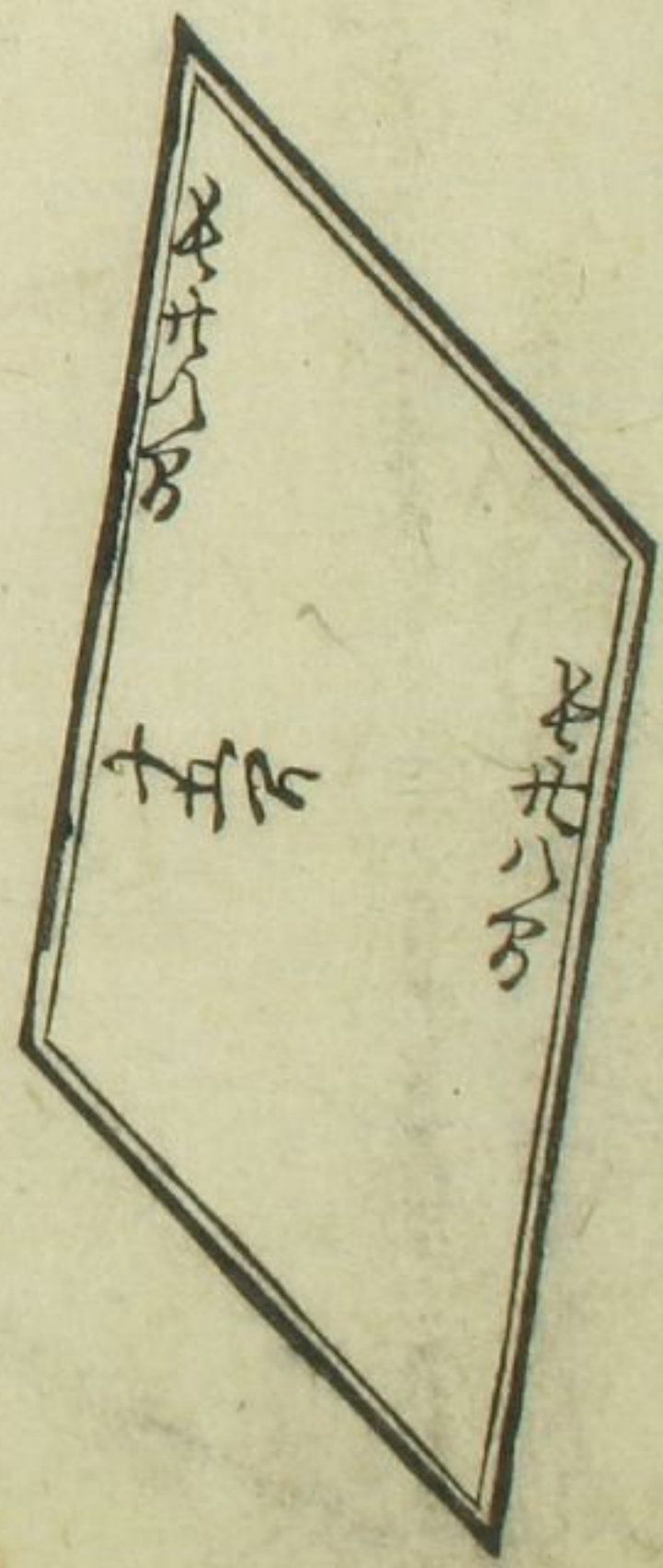


法は七歩五歩は十八歩をかりぬ七歩二坪小成  
これを右よりへち五〇又六歩はけけを九歩の  
よりよりくぬ時十五歩は成を二川よりくぬ  
七歩半は是より九歩とくぬ九十二坪半は



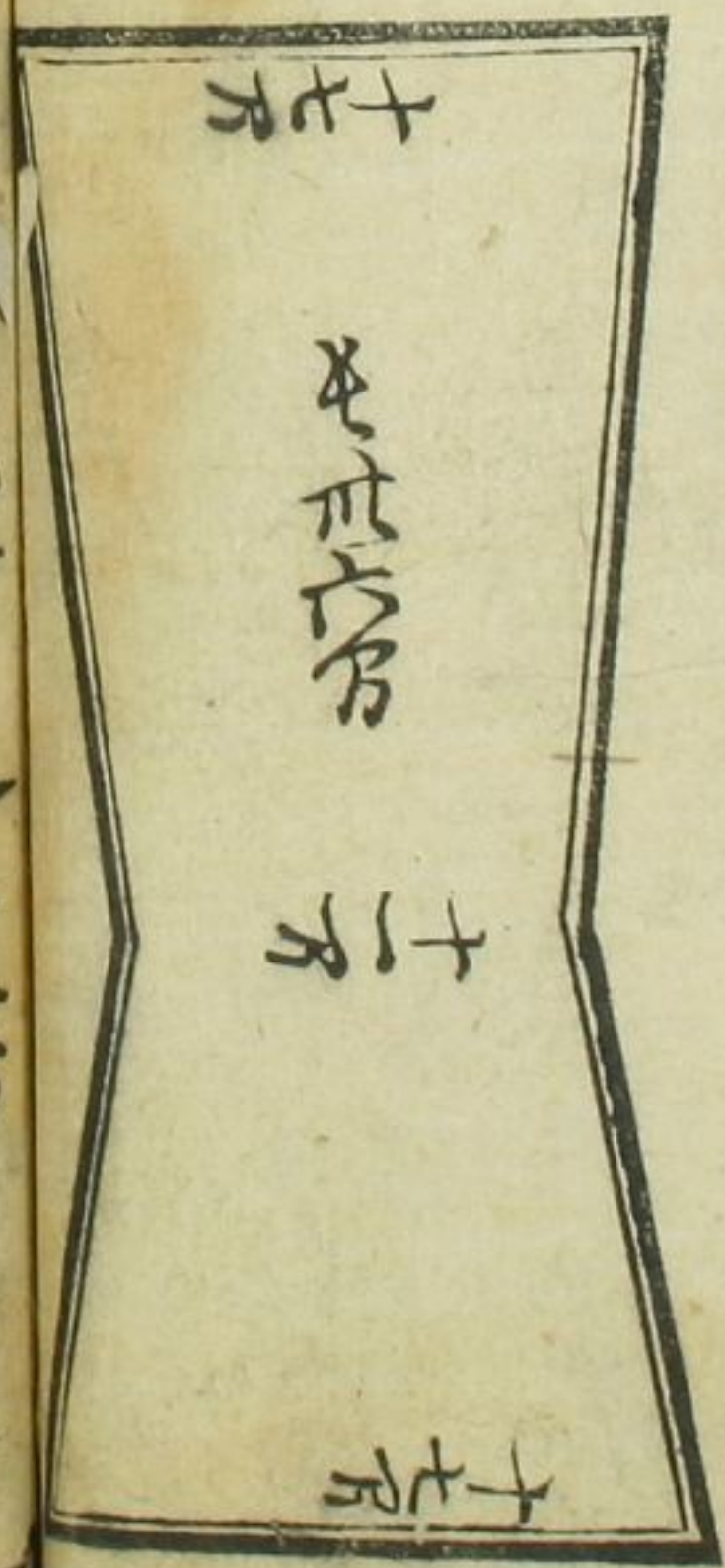
かり是程右より内より一付砂を四百九坪ある  
 田の法三にしてはれ右より一歩はじりぬ

○一及四畝



法は廿八歩より十五歩をくくればはじりぬ  
 田の法三にしてはれ右より一及四畝とさるる

○一及六畝廿四歩



法は十七歩より十一歩をくくればはじりぬ  
 又一倍より一歩はじりぬ  
 又六歩より一歩をくくればはじりぬ  
 又四歩より一歩をくくればはじりぬ  
 又五歩より一歩をくくればはじりぬ  
 又四歩より一歩をくくればはじりぬ  
 又三歩より一歩をくくればはじりぬ  
 又二歩より一歩をくくればはじりぬ  
 又一歩より一歩をくくればはじりぬ

○二及四畝九歩



法は六十三歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又八十一歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又九十八歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又百一十五歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又百三十二歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又百四十九歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又百六十六歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又百八十三歩より十八歩をくくればはじりぬ  
 又二百歩より十八歩をくくればはじりぬ



○一及三畝廿四歩



法よ十二万よ十八万加へり時廿万よ銀二ツよ  
 わふ時十五万よりなるこれよなるき十五万よ  
 かくれも或百廿五坪よりなりへちなりよき〇又  
 横十八万より云万よなるきよ廿一万よ銀  
 二ツ小わぬえ十畝中よ成これよき十八畝よ  
 かくれも百八十九坪よなる右も或百廿五坪小  
 らるる〇又十坪坪よ成田の法三て刻えなるべ

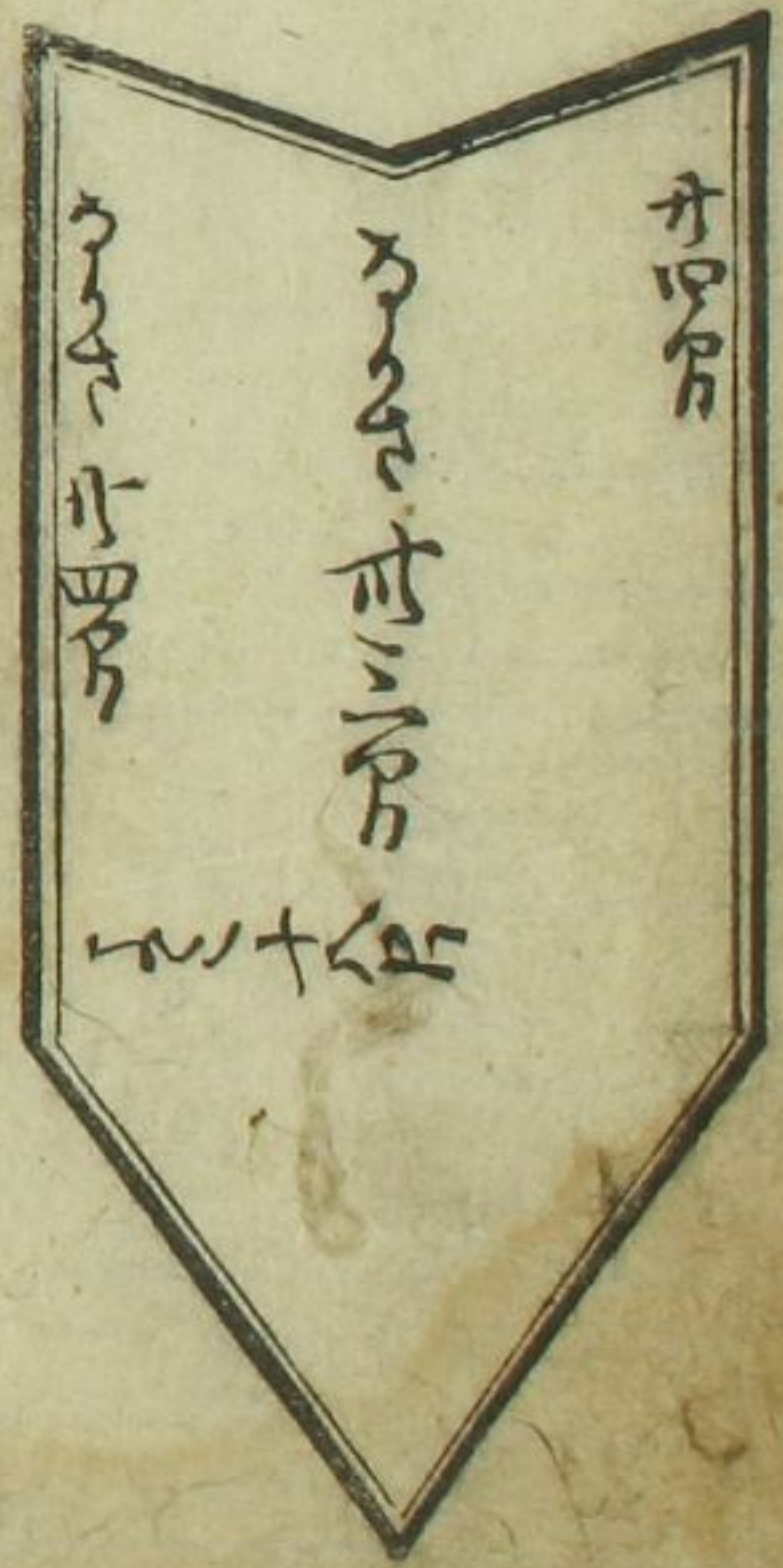
○四畝二十四歩



法よ二万よ二ツよりわりて一万よなる是より  
 かくき廿四畝をかくれも廿四坪より成なり  
 又二万よ十八万よなるきよ廿万より銀  
 二ツわりて十けんよりなるこれよき十二万小  
 かく市時よ百廿坪よりなりこれよき廿四坪よ  
 かく市時より百四拾四坪よ成是を田の法三て  
 かくる四畝或拾四歩と志るへ



〇一及七畝三歩



法一畝廿三歩は廿四畝より入ての餘七畝より  
 此れを二つより引く亦八畝より入るるは  
 一畝十八歩を引くは五百十三坪より引くは  
 田の法三てあり時一及七畝三歩とあるを  
 右檢地の積うは所見あり也久し用いたり  
 皆必初めにして之を初め成人より一への  
 ありと一七六とありけし

和十八

知り物ぬりま

一二及七畝の時 斗代一及七畝の斗代より七  
 右を言ふはふれとありてあり時

〇言字を末とつ

法一畝二及七畝を右より引くは五斗をうりて  
 言字を末とありへし

一畝及三畝廿一步あり 一及七畝五斗代より七  
 右を言ふはふれとありてあり時

〇言字を石斗年五合とつ

法一畝五斗三畝廿一步ありとありてあり下



廿一歩を三にして日ら時よ九だん三或七とたなる  
こゆよ一石五斗とくくぬいとちるへ

一石三万五千或百石を 右と抽成六川五分成と  
りし時右とくよ抽成捨て何れくろ中をき寄

○抽成二万二千の首ハ捨石とりの

はよ三万五千或百石を右一をき六川五分を  
かくれも右のもの成ときを

一燃一換と云も言一石の内き身百換れし時て  
一石三万五千或百石あり け抽成二万五千八百

八拾石とれしつくと成たると同時  
○六川五分よたるとりの

法よ抽成と右よきよして日ぬら六川五分と成  
一回三万五千或百石抽成二万二千八百八拾石  
あり時ちんらんよあつらるる時

○三換五分とりの

はよ言の内をもの成りしりもあて一萬二千  
と首或捨石とくゆを言て日ぬら云らん五分と  
一抽成六川五分とて抽成二万二千八百八拾石  
あり時右とくきぬぬとりの時

○言三万五千或百石とりの



清よりの成二万二千八百石を六川五分て  
こいさとちるへし

一物成二万二千石の積石を ときる<sup>三付</sup> 口米二米  
史米六千ツの時石を物成の口米史米をせう

○口米史米千石世石四斗とりの

清し物成を右よをきて八米をかくりも口米  
史米とちるへし

一物二万二千八百八十石の時口米史米本米せふ  
一とんにてとちるへし

○二万四千七百拾石四斗とりの

清よ物二万二千八百石の積石をみもこよをきて  
ひりよまきる八米とてこれをはへかくたとき

二万四千七百拾石四斗とちるへし

一斗米口米史米せよ二万四千七百拾石四斗の時  
本米りりりと思しきとりの付り

○本米二万二千石の拾石とりの

清よ二万四千七百拾石四斗を右の米て刻し  
一回本米口米史米しり二万四千七百拾石四斗

あり時右より口米史米をうふりくそとちる

○口米史米千石世石四斗とりの



法一右より二万四千七百拾石四斗少きをきりて  
ひしりふらるる軍と重是を八束にしてわらふ時よ  
一三五とならる是にして右をわらふとよきなり  
千八百世石四斗とよきなり  
一四廿米口米丈米共よ二万四千七百拾石四斗と  
右のうち口米もなふわらふ中とよきなり

○口米四百の拾七石中なりとよきなり

法一右より一石の米と重これとてわらふ  
五四と成これにて右の二万四千七百拾石四斗と  
よきなり

一廿米口米丈米共よ二万四千七百拾石四斗とよきなり  
夫米りりわらふわらふ中とよきなり

○丈米千三百七拾二石中なりとよきなり

法一右より一石の米と重これとてわらふ  
一八とならこれにて右のをよきなり  
式石八斗とよきなり

一丈米千三百七拾二石八斗ありの時よ廿米もろふ  
わらふ中とよきなり

○廿米二万二千四百の拾石とよきなり

法一千三百七拾二石八斗と右をきりて二石を



六斗までしりぬの中米とさるべし

一 粟四百石拾七石五斗五升付け中米さうふりく  
ろくせうとさるべし

○中米二万二千石拾石としよ

法一 一斗五升中米七石五斗を二束しりてしりぬの  
中米としさるべし

一 粟夫米としりぬ千八百廿石四斗五升は中米ハ  
何れとさるべし

○中米二万二千八百廿石としよ

一 粟千八百廿石四斗五升と八束としりぬのさるべし  
一 粟夫米としりぬ千石四斗五升は中米としりぬ  
かふりくろくせうとさるべし

○夫米千二百七拾二石五斗としよ

法一 右の右米とをききて二斗を八束してしりぬ  
七五とかりこれりて右の千石四斗五升と  
わりの夫米千二百七拾二石八斗とさるべし

一 年欠り右の中米七斗五升付け右の右米さうふりく  
中米二束しりて中米さうふりく

○納八石五斗としよ

法一 八石五斗七斗を二束中米としりぬのさるべし



天曆六年辛未

十二月

才十五

金銀もくのうりくい 白積のり

一四寸為千五百枚と三寸ふまうりてうふやしく  
とうりまうり

〇三寸為二千二百六十六枚五分六リとりの  
は、四寸と左右よをきくうり六十六坪りる  
あ、四寸寸為千五百まいか、二万四千坪よ  
るりか、これを右りへちよ、五〇又ひりりよ  
三寸と左右よをきて、く、九坪よ、成、是、以、て  
右、二、万、四、千、坪、を、刻、え、二、千、百、六、十、六、枚、を、  
六、り、ゆ、き、ま、う、り

右巻



一二枚ひょうりめのさきおんこくありあて  
 一三枚ひょうりめは金角うふれく入とぬ

○百八拾七まい入



法は五尺は六尺をくくれ六寸の坪三千坪は  
 これを四寸為の坪九寸十六寸でわぬとま  
 百八十七枚半とまれど七寸はめんを一わりも  
 ニわりも入るわりしつれもまよふかす  
 めはやしきるぬ

一六角のり物北角のをもて七寸のありとまよ  
 あれよ三寸金角をく時為らん枚わく入る電  
 とうりまきり

○三寸坪百廿七坪三分あり

○三寸為十四枚一分四り入



法は七寸を左右よをきうくぬ四九とぬ  
 六角の法二五九八くぬ百廿七坪三分二毛  
 二寸を三寸為北法九坪はてまぬ三寸の為て  
 十枚敷一分四りとまきり



一八角乃をもて六寸のつゝ五寸あるふ三寸此金溝  
 うふれく入るゝ四寸

○一寸坪百七拾三坪の分よりき  
 ○三寸をく十九枚之分一り入る



はよ六寸と左右よなきわくれは三六と母はれよ  
 二をくれは七十二と成是を八角のは四一四二て  
 五れら百七十三坪八分三リときをこ又くれを  
 九にしてより時十九枚之分一リとき方あり

右さん用をめけよとせりんと思合入りし

**材**

材木のし

一三寸角此二成木四百廿五寸 此れは四寸角の  
 二万本をわけてとる時四寸角うふ程をく四寸  
 ○四寸角四百廿五本とよ  
 法一三寸を左右よ垂くくれは九坪と成これと  
 四百廿五くは三六とかなる右よ別り垂か  
 又しよりよ四寸を二所よ垂かくれは十六と成  
 是は右をく三六とわくは四寸角四百廿五本と  
 あり

一八寸角の二万本七寸は時よ五寸角の二万本と



わくし時右より八寸角の三万本七本より五寸角を  
たふやくてかく四寸角なり

○五寸角二万本

寺拾六年と

○五寸より四寸四分の角 一斗とす

はよ八寸を左右より五寸とすれは六四と作るはよ

三斗をかく時一九二とすり又七斗をかくて

一之四四と成右なりへちよ五〇又右より五寸と

左右よをきかくれは二五と成りはよ二万とす

五より角はよを右より一三四とす五にしては

寺拾六年とすりはよをかくてはよ四四とす

五寸より四寸四分の角とす

一又五寸より四寸四分の角とす角より一とす

角と成るとす

○四寸四分より四寸四分とす

はよ四寸四分より五寸とすれは六二と成り

用平法にしてはれは四方とすり

一回五寸より四寸四分の角の二万本を五寸角より

よりさるるなりはれは二二と成り

○七一斗四尺九寸四分とす

はよ四寸四分より五寸とすれは二二と成り



かゝるまじ二万を一丈三尺とす一て二れを右の  
二二へくくぬ時二八六と成別よ垂又ひくりよ  
五寸を左右よをきくくぬ二五と成ぬて右を  
二八六とぬぬ一丈一尺四寸四分とかなる是と  
一万の法六尺五寸少てけんまやりりりぬぬ  
右くくくぬぬぬ

一三寸角此二万本三百の格中ある時は五寸角の  
二万本と替ひき時り三寸角をきりりりりり  
五寸角一本三寸角を一本つをいようちて  
くる時三百の千本のくくは五寸角何れくと同  
○五寸わく  
ぬ格二本と

○五寸よ三寸二合三リの色 一本とひあ  
はよ三寸を左右よをきくくぬぬを九よ成ぬぬを  
三百の格中よくぬぬ三一五と成是をへちよ垂  
ひくり小五寸を左右よをきくくぬぬ二五と成是よ  
ぬとくぬぬ時三四と成ぬぬぬぬ三一五と  
期時五十二年六四七と成ぬぬ六四七とひぬぬ  
きぬぬ時五寸を左右よ垂くくぬぬぬぬぬぬぬぬ  
二れを六四七よくぬぬ十六一七五とかなる是を  
又五寸あてぬぬぬ三寸二ふ三リを色とぬぬぬ



一六寸角の二万本と一廿寸角の五万本の時  
六寸角五尺の時右の縁より一尺を引てもふふれ  
ろと四寸一

○六寸角の代き各七寸かりぬと  
は六寸角二万本乃代各五寸かりぬと  
は二七五とろり是と一丈三尺て  
き各七寸五尺ゆしきろへ

一丸木の一丈一五寸と一丈六尺二寸の  
二山と五寸角よりてとさろふれはぬと回

○五寸角一丈三尺はぬといふ

法一 一丈六尺二寸五寸は八とろり  
一丈三尺と七九をわけても  
一五寸角は一丈三尺の時丸木の一  
五寸よりてとさろふれはぬといふ

○一丈六尺二寸五寸はぬといふ

法一 一丈三尺を八とてわけろ  
とぬといふ○又七九をてはぬといふ合

一丸木の一丈一五寸と一丈六尺二寸の  
ろて何れもろと四寸

○五寸三分より三毛の角はぬといふ



法一しりよ一<sup>一</sup>二五と<sup>ま</sup>垂てこれら<sup>は</sup>右の  
六寸を<sup>ま</sup>ら<sup>し</sup>時<sup>に</sup>み<sup>も</sup>これ<sup>を</sup>く<sup>と</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>  
一又五寸五分三三<sup>り</sup>も<sup>も</sup>四<sup>方</sup>ある<sup>の</sup>角<sup>を</sup>まる<sup>る</sup>木<sup>り</sup>  
き<sup>て</sup>ろ<sup>ふ</sup>り<sup>よ</sup>ら<sup>る</sup>あ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>時<sup>を</sup>

○六寸のまる木よ<sup>か</sup>ら<sup>る</sup>と<sup>し</sup>よ

法し<sup>り</sup>よ一<sup>一</sup>二五と<sup>ま</sup>垂<sup>し</sup>る<sup>を</sup>右<sup>に</sup>五寸三分  
三三<sup>り</sup>よ<sup>か</sup>ら<sup>る</sup>六寸<sup>を</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>

一六寸角の二<sup>分</sup>木<sup>を</sup>四<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
平地の<sup>ま</sup>く<sup>二</sup>尺<sup>よ</sup>あ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>八寸<sup>を</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>三<sup>分</sup>を<sup>ま</sup>  
これ<sup>を</sup>六寸<sup>角</sup>二<sup>分</sup>木<sup>の</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
ろ<sup>ふ</sup>り<sup>よ</sup>ら<sup>る</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>四<sup>分</sup>

○平地代敷格<sup>を</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
法よ<sup>ひ</sup>抽<sup>あ</sup>ら<sup>る</sup>八寸<sup>を</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>二尺<sup>を</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>  
一七と<sup>ま</sup>垂<sup>し</sup>る<sup>を</sup>三<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
是<sup>よ</sup>四<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>二<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
右<sup>よ</sup>へ<sup>ち</sup>り<sup>し</sup>垂<sup>し</sup>る<sup>を</sup>六寸<sup>を</sup>き<sup>る</sup>る<sup>る</sup>  
と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>三<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>七<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
これ<sup>ら</sup>を<sup>ま</sup>ら<sup>る</sup>二<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
右<sup>に</sup>九<sup>分</sup>と<sup>し</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>  
一<sup>ひ</sup>よ<sup>ら</sup>る<sup>る</sup>時<sup>に</sup>一<sup>と</sup>し<sup>よ</sup>ら<sup>る</sup>る<sup>る</sup>

木

五



まうして一しめとソム之右と或百とくとも  
うしてまめてとの時よ一とく<sup>二</sup>五寸とく  
あの時或入ると或うくよ四尺五寸とくとも  
らんそくしてあめと回時よ

○四尺五寸とくとも或百四拾七束とくとも

法よ五尺をまのき法三一六ゆてわろとくとも  
一尺五寸と分ニリ二とと此れを右右よとくとも  
くくれと一寸四方の坪敷二百の格下之分とり  
ゆを六系八忽四とくとも是よ二百とくとも  
五万下下六拾七坪と分三リ六毛八系とくとも  
わりの一尺四寸と分四リと成このゆを右右よとくとも  
くくれと或百下二坪七分七リ七毛六系とくとも  
是よと右と五万下下六十七坪と分とり六八と  
わると二百四拾六束五分と成とくとも一とくとも  
一七七とくとも

一回ひよ四尺五寸の志あゆら束とくとも  
うよ乃志あまうしてらんそくよ束とくとも  
○五尺とくとも百六拾二とくとも  
法よ四尺五寸と分三法三一六ゆてわろとくとも



一尺四寸二ふ四りと成是を左右よまうらうの時  
或百下二坪七ふ七リ七毛六糸とらうあまふ又  
二百とくくれも四百五百の十五坪五分二リを  
右よへちよ五〇又五尺の坪をくくくくくく  
或百五拾下ふ分三五六八四是て右のをよれ  
百六十二中しちるなり

一五尺ちこのうち一寸あそくの時なと引よして

〇四分一リ一毛あそくうわ

一五尺ちこの内二寸あそくの時なと引よして

〇二分四リ九毛あそくはち

一五尺ちこのうち一寸あそくの時なと引よして

〇一尺一リ六毛あそくは

一五尺ちこの内四寸あそくの時なと引よして

〇一わり二分一リ三毛あそくは

一五尺ちこの内五寸あそくの時なと引よして

〇二わり三分四リ七毛あそくは

一五尺ちこのうち五寸あそくのときも五尺を

まうのまは三一六にしてよれ一尺五寸八分二リ

二毛とる所を右右よ五てうらう或百の拾下

三分一リ七毛六糸八忽四と成右よへちよあまふ



又四尺五寸とまるも法三一六とてわらへ一尺  
四寸二分四リと成これと右右は垂てくられ  
或る下二坪七分七リ七毛六糸と成是れ右  
五尺の坪内計めて四拾七坪五分四リ余  
是を又抄う下二坪七分七リ七毛六糸とてわら  
付小二わり三分四リ五毛と成る

一作一束とよめをまわり一尺八寸あり右の内  
寸少くある時らんわのたぬと成時  
一尺八寸とて一寸少くの時

○一わり三分一リ少くは  
一尺八寸とてのうち二寸少くの時

○二わり六分六毛少くは

一尺八寸とて坪内寸少くの時

○四わり四分少くは

右一尺八寸とて寸少くの時らんわ  
あといれは

一尺五寸とて一尺八寸とて

○一わり四分四リ二毛とて

二尺とて一尺八寸とて

○二わりの分四リ五毛とて



あるひ一尺八寸をばして一丈と二尺とあり  
くいと時一尺二寸をばして一丈と二尺とあり  
あつるまゝとあり

○ 数分六リぬ毛よあつるなり

はよ二わりと分四りぬ毛よあつるなり  
十二三四五と分はよ二条をうらぬ右とく  
まじりなり

又一尺八寸小三寸たぬ時を四りり四分り  
十とく五分十四四と分これして二条を刻時  
まじりなりハ毛也とあり



